

## Lampiran 1

## Teks yang dibaca oleh responden

## 言う

私が毎日使っている〇〇線の特急電車に乗るには、五百円の特別料金を払わなければならない。ちょっと高いけれども、蒸し暑くて我慢できない日や残業でとても疲れた日など、「コーヒーいっぱい飲んだつもりで」と考えて、つい乗ってしまう。

この電車を利用して、いつも気にかかることがある。「この電車はすべて指定席です。特急券をお持ちでない方はお乗りにならないください」と何度も繰り返されるアナウンスである。敬語の使い方が間違っているのでも、言い方が失礼なのでもない。文法も正しいし、声も優しい。けれども私には、' 乗せてあげるから券を買ってきなさい」と命令されているような感じがする。「お乗りになる前に特急券をお求めください」とでも言えないだろうかと思ってしまう。

いつかどこかで、「私が子供たちに話す言葉は「残さないように食べなさい」とか、「そんないたずらやめなさい」とか、「テレビはもう少し離れて見なさい」と、一日中、命令や禁止の文ばかりだ」という若いお母さんからの投書を目にして、「そうだろうか」と思ったことがある。確かに言葉の形はそうだが、お母さんの命令文からは「たくさん食べて大きくなるんですよ」「近くでテレビを見ていると目が悪くなりますよ」という子供への思いやりが伝わる。

優しく言ったつもりでも「～しなさい」と聞こえ、「～しなさい」と言っても優しさが伝わる。学校では、漢字や文法、言葉の意味などは教えてもらうが、言葉の使い方や伝わり方は教えてくれない。相手のことを考えた言葉とその使い方。特急電車に乗りながら、いつも考えさせられる。